

## エアードライヤー通信ソフト

(Version 2)

### —もくじ—

使用上の注意	
使用上の注意.....	2
通信前の準備	
ソフトウェアをインストールする.....	2
本機とパソコンを通信ケーブルで接続する.....	2
ソフトウェアを起動する.....	2
通信ポートの設定.....	3
通信デバイスアドレスの設定.....	3
操作方法	
表示画面の選択.....	3
詳細画面の操作.....	4
一覧画面の操作.....	6
保存データの確認.....	8
資料	
仕様一覧表.....	8



### 注意

- この製品は「産業用」です。  
運搬・据付・配管・配線・運転・操作・保守・点検等の作業につきましては有資格者が実施してください。
- この取扱説明書をよく読んで正しくお使いください。
- 取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

## 使用上の注意

### 使用上の注意

- 本ソフトウェアは法律により保護されています。本ソフトウェア及び取扱説明書の全部または一部を無断で複写または転載することは、禁止されています。
- 本ソフトウェアは、不備がないように注意して作成しましたが、万一不備がありました場合はご容赦いただきま

すと同時に、ご連絡いただきますようお願い申し上げます。

- 本ソフトウェアをご利用された結果に関しては、いかなる件にも責任を負いかねますので、予めご承知おきください。

## 通信前の準備

### ソフトウェアをインストールする

「インストール説明書」に従ってインストールします。

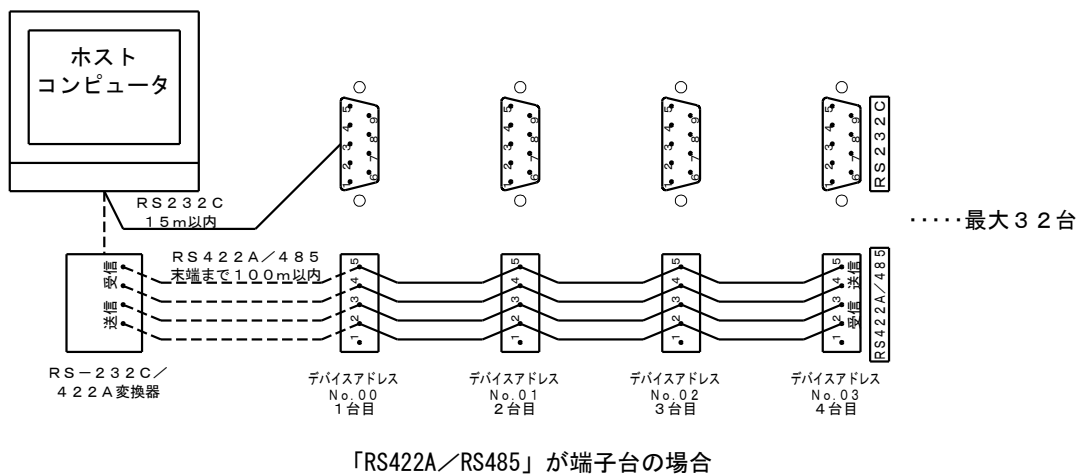
### 本機とパソコンを通信ケーブルで接続する

本機の「RS232C」コネクタと、パソコンのシリアルポートを、通信ケーブルで接続します。本機の接続コネクタは、D-SUB 9ピンオスです。

※通信ケーブルは、RS232C（ストレート）をご使用ください。

※USB 接続のパソコンの場合は、市販の USB 変換器をご使用ください。

※2台目以降の接続は、本機の「RS422A/RS485」コネクタを用いて下図のように接続します。



### ソフトウェアを起動する

「AirDryerCom.exe」アイコンをクリックすると「エアードライヤー通信ソフト」が起動します。



エアードライヤー通信ソフト

※この時次のダイアログが表示される場合は、「はい」をクリックしてください。

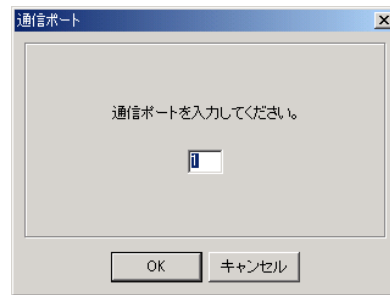


起動直後の画面

# 通信前の準備

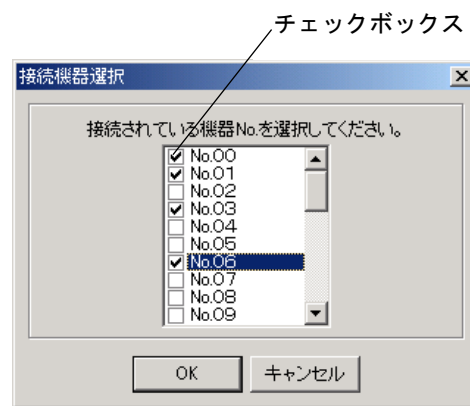
## 通信ポートの設定

1. ソフトウェア起動時に、「COM\*オープンエラー」のダイアログが表示された場合は、パソコンの「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャー」で今回の通信で接続したポートの番号(COM\*)を確認します。
2. 確認したポート番号を、「エアードライヤー通信ソフト」の起動直後画面にて、メニューバーの「設定」→「通信ポート」で入力し、「OK」をクリックします。



## 通信デバイスアドレスの設定

1. 本機の設定  
1 台のパソコンに複数台の本機を接続した場合は、それぞれの本機にて、デバイスアドレス番号(0~31)を設定します。  
※設定方法は、本機の取扱説明書をご覧ください。  
※全て違うデバイスアドレス番号を設定してください。同じ番号の本機が存在すると、通信が正常に行えません。
2. 「エアードライヤー通信ソフト」の設定  
「エアードライヤー通信ソフト」の起動直後画面にて、メニューバーの「設定」→「接続機器選択」にて、(1)で設定したデバイスアドレス番号のチェックボックスをクリックして「✓」を表示させ、「OK」をクリックします。

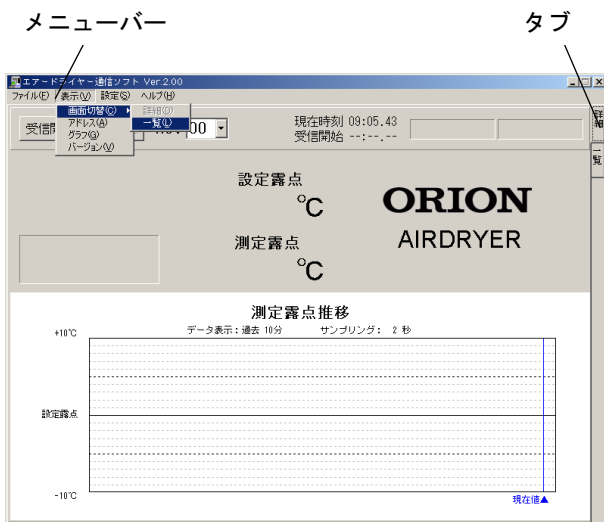


# 操作方法

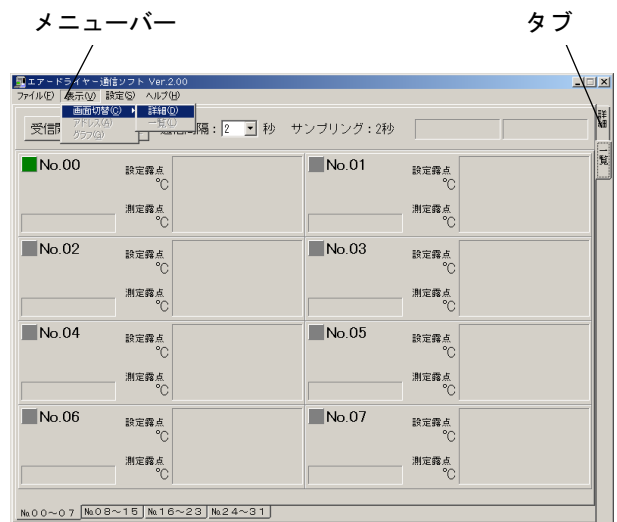
## 表示画面の選択

表示画面は、複数の本機を接続している場合でも、指定したデバイスアドレスの運転データのみ表示する「詳細画面」と、複数のデバイスアドレスの運転データを表示する「一覧画面」があります。

表示画面の切替は、メニューバーの「表示」→「画面切替」→「詳細」「一覧」で選択するか、画面右上の「詳細」「一覧」タブをクリックします。



詳細画面

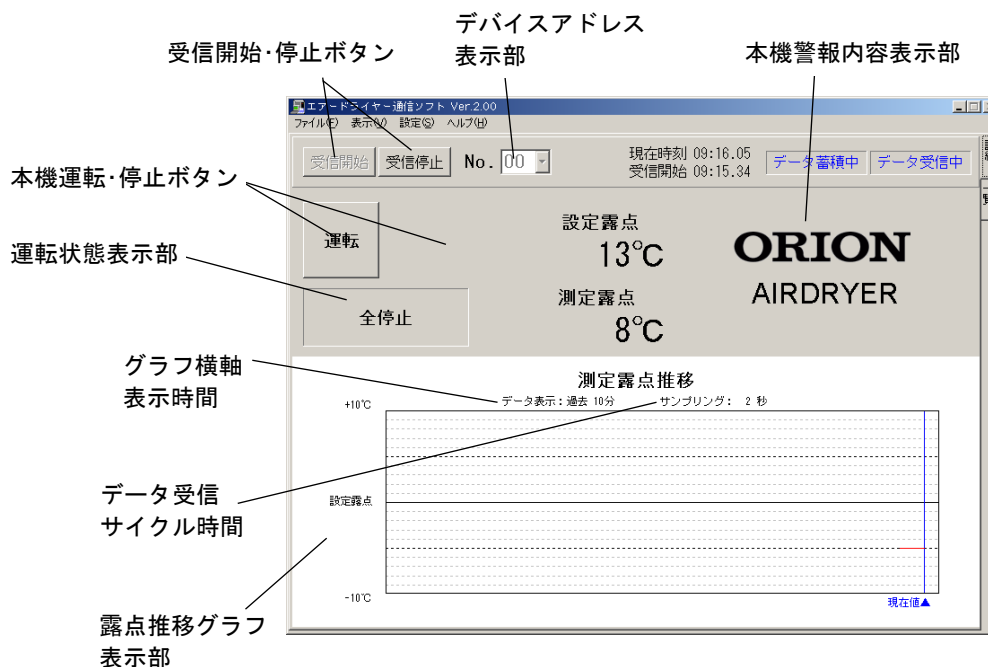


一覧画面

# 操作方法

## 詳細画面の操作

### 1. 画面

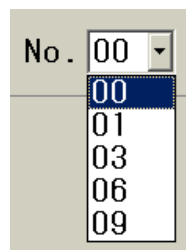


### 2. 画面に表示するデバイスアドレスの設定

デバイスアドレス表示部右側の「▽」をクリックすると表示可能なデバイスアドレス番号が表示されるので、表示したい番号をクリックします。

※表示したいデバイスアドレス番号が表示されない場合は、P.3「通信デバイスアドレスの設定」をやり直してください。

※この設定は、受信停止中のみ可能です。



### 3. 受信（通信）の開始

「受信開始ボタン」をクリックすると、1. 画面のように、「本機運転・停止ボタン」「運転状態表示部」「露点設定値」「露点測定値」などが表示され、露点測定値は、「露点推移グラフ表示部」に露点の変化がグラフ表示されます。

### 4. 本機の運転操作

受信を開始すると、「運転ボタン」が表示されるので、このボタンをクリックすると運転が開始し、代わりに「停止ボタン」が表示されます。

※「運転」・・・運転を開始し、「運転状態表示部」が「運転中」となります。

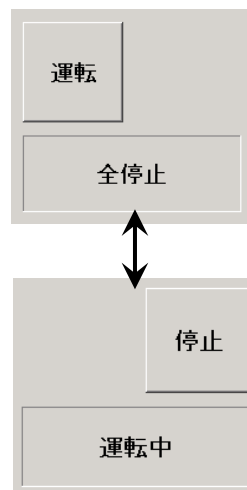
※本機の運転操作の前に必ず、本機の取扱説明書をお読みください。

### 5. 本機の停止操作

「運転状態表示部」に「運転中」の表示があり、本機が運転している場合は、停止ボタン「停止」が表示されているので、このボタンをクリックすると運転が停止します。

### 6. 本機の運転・停止操作の有効・無効選択

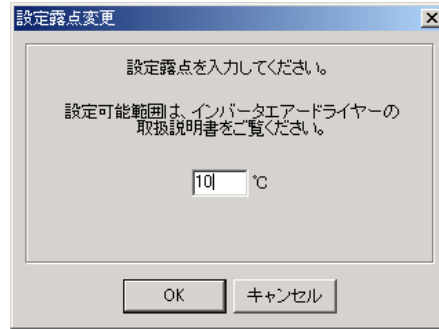
メニューバーの「設定」→「運転操作」→「有効」「無効」で無効を選択すると、上記(4)、(5)の運転ボタンが画面に表示されなくなり、運転・停止操作がパソコンからできなくなります。



# 操作方法

## 7. 露点設定値の変更操作

メニューバーの「設定」→「露点設定値変更」で表示されるダイアログで変更したい露点(設定値)を入力し、「OK」をクリックします。



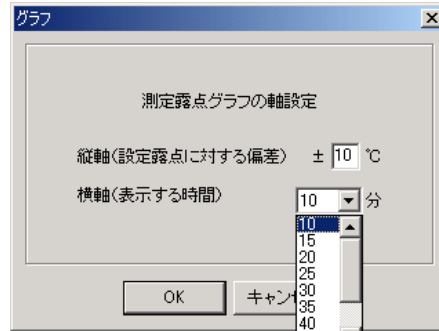
## 8. 露点推移グラフ表示部の設定変更

露点推移グラフは、露点設定値に対する温度差で表示します。縦軸の温度差範囲と、横軸の表示時間(データ受信サイクル時間)は、以下の要領で変更できます。

<縦軸・横軸変更方法>

メニューバーの「表示」→「グラフ」で表示されるダイアログで、縦軸は 1~10 の整数を入力、横軸は「▽」をクリックすると選択可能な時間が表示されるのでその中から選択します。データ受信サイクル時間は、選択した横軸の表示時間により自動的に設定(2~12 秒)されます。

※受信データの保存間隔も、ここで設定されたデータ受信サイクルになります。



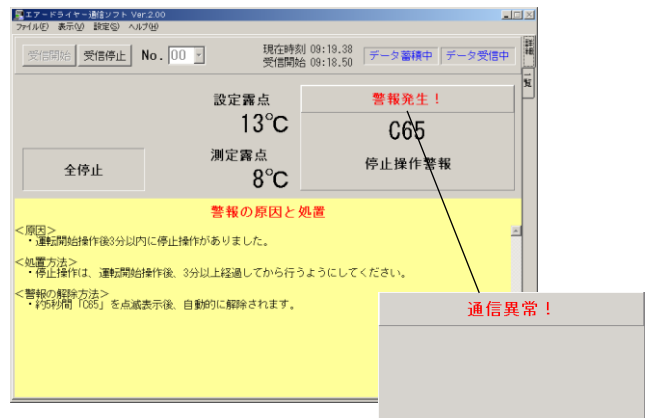
## 9. 受信データの保存

メニューバーの「設定」→「データ蓄積」→「する」「しない」で受信データの保存をするか否かの選択ができます。「する」を選択している場合は、「受信停止」ボタンをクリックし、受信を停止した時にデータ保存のダイアログが表示されます。(ファイル名は、受信を開始した「年月日時分秒」になっています。必要に応じて変更してください)



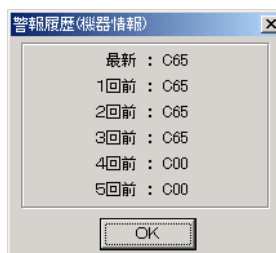
## 10. 本機警報内容表示部

本機で警報が発生すると、警報コード番号と警報内容の概要が表示され、さらにグラフ表示部には、原因と処置方法の概要が表示されます。詳細は本機の取扱説明書をご覧ください。また、「通信異常」と表示している場合は通信異常が発生しています。



## 11. 本機警報履歴の表示

メニューバーの「ファイル」→「アラーム履歴」→「機器情報」で、過去 6 回分の警報を確認できます。

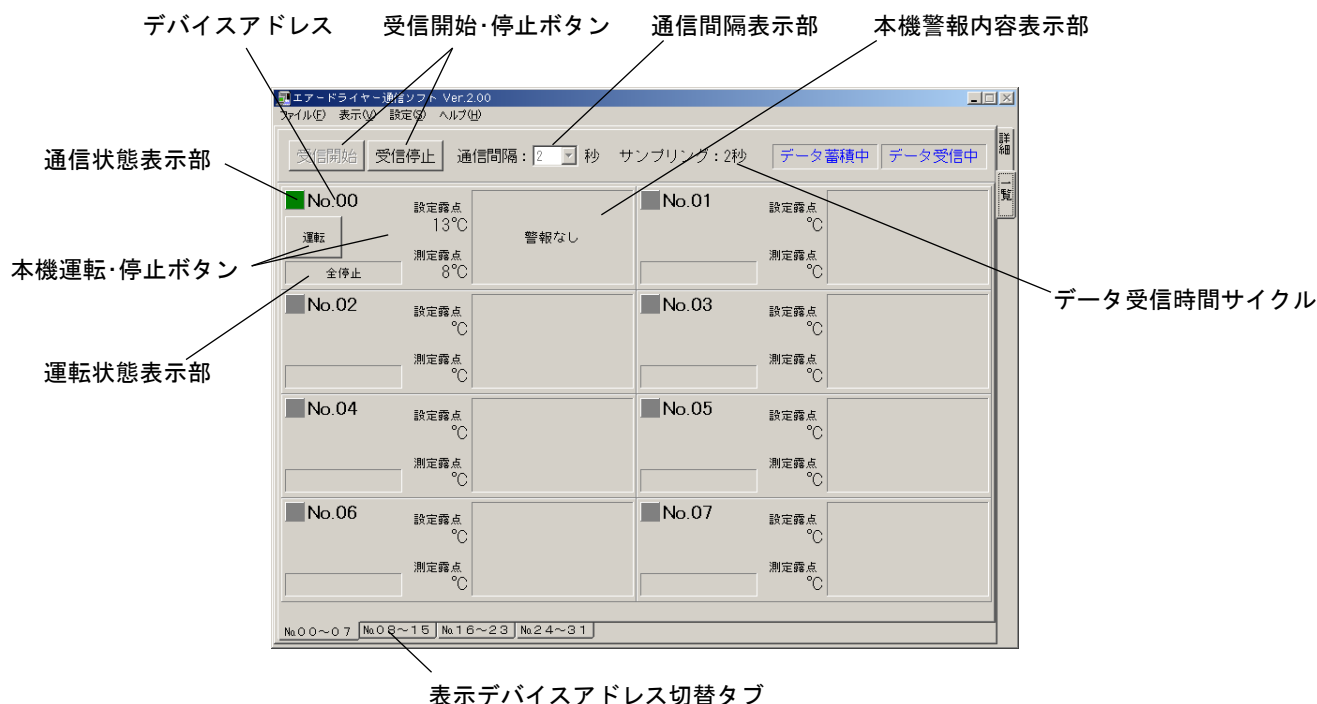


# 操作方法

## 一覧画面の操作

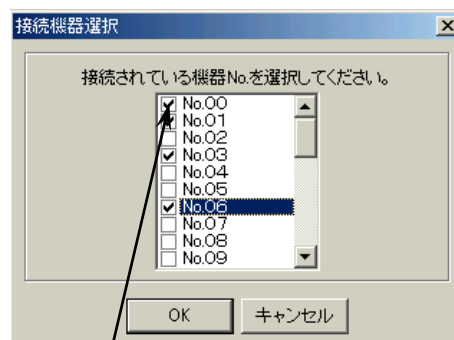
### 1. 画面

となります。



### 2. 通信するデバイスアドレスの設定

すでに設定されている (P. 3「通信デバイスアドレスの設定」参照) デバイスアドレスは、画面の「通信状態表示部」が緑色になっています。灰色になっているデバイスアドレスは通信しません。設定を変更する場合は、メニューバーの「設定」→「接続機器選択」にて行ってください。  
※本機が接続されていないデバイスアドレスを選択すると、通信間隔が設定より長くなりますのでご注意ください。



チェックボックスをクリックすると、「✓」の表示が現れたり消えたりします。「✓」の表示にしたデバイスアドレスと通信します。

### 3. 通信間隔の設定

通信間隔とは、ひとつのデバイスアドレスあたりの通信時間です。受信（通信）停止中のみ設定変更できます。

「通信間隔表示部」右側の「▽」をクリックすると、設定できる時間（秒）が表示されるので、設定する時間をクリックします。

※この設定は、受信（通信）停止中のみ可能です。

※データ受信時間サイクル（サンプリング時間）について  
サンプリング時間とは、通信設定しているデバイスアドレス全てのデータ受信が終了する時間で、通信設定しているデバイスアドレスの数によって変わります。この時間サイクルで、各デバイスアドレスの表示データが更新されます。

<例>

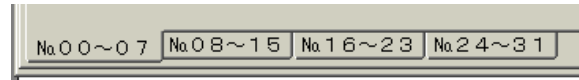
通信間隔 2 秒で、通信設定しているデバイスアドレスが 10 個の場合、サンプリング時間=2 秒×10 個=20 秒



# 操作方法

## 4. 画面に表示するデバイスアドレスの変更

「表示デバイスアドレス切替タブ」の中で、表示したいデバイスアドレスが含まれるタブをクリックすると、切り替わります。



## 5. 受信（通信）の開始

「受信開始ボタン」をクリックすると、デバイスアドレスの若い方から、順次データの受信を開始します。データ受信中のデバイスアドレスは、通信状態表示部が赤色になります。

## 6. 本機の運転・停止操作と操作の有効・無効選択

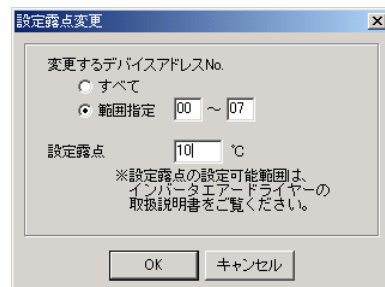
各デバイスアドレス表示部の「運転」および「停止」ボタンをクリックすることで操作できます。（P.4参照）

※この操作の指令が、本機に伝わるまでの時間は、全てのデバイスアドレスにて通信異常が無い場合で、最大「サンプリング時間」かかりますのでご注意ください。

※本機の運転操作の前に必ず、本機の取扱説明書をお読みください。

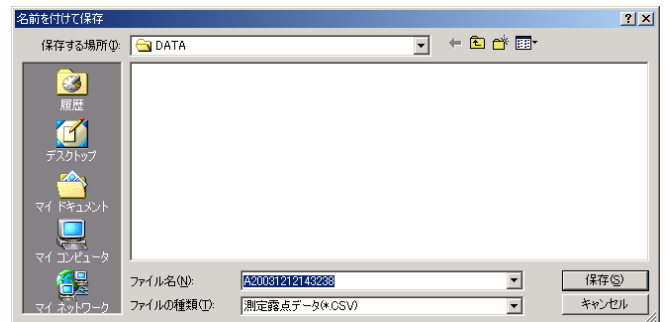
## 7. 露点設定値の変更操作

メニューバーの「設定」→「露点設定値変更」で表示されるダイアログで、変更したいデバイスアドレスと露点（設定値）を入力し、[OK]をクリックします。



## 8. 受信データの保存

メニューバーの「設定」→「データ蓄積」→「する」「しない」で受信データの保存をするか否かの選択ができます。「する」を選択している場合は、「受信停止」ボタンをクリックし、受信を停止した時にデータ保存のダイアログが表示されます。（ファイル名は、受信を開始した「年月日時分秒」になっています。必要に応じて変更してください）



## 9. 本機警報内容表示部

本機で警報が発生すると、警報コード番号と警報内容の概要が表示されます。本機の取扱説明書にしたがって、対処してください。また、「通信異常」と表示している場合は通信異常が発生しています。







MEMO

MEMO

MEMO